命の大切さを知る授業

# 赤ちゃん授業！ in 大松小学校

11/13（生徒　1組25人・2組25人・3組27人　親子　8組）

& 11/14（生徒　2組26人・3組27人　親子　13組）

大松小学校５年生と親子がふれあう赤ちゃん授業を2日間にわたり行いました。
最初は戸惑いつつも赤ちゃんとの触れ合いを通し、命の尊さや親の愛情を実感。
育児の大変さや自己の成長についても深く考える機会となりました。

## １時間目 助産師の授業

助産師：鈴記先生による授業を行いました。命の成り立ち、大切さ以外にも、将来子どもを産み育てるため自分自身も大切にすることを学びました。

## 事前アンケート

生徒からパパママへ質問

- 妊娠中どんな気持ちでしたか？
- 子育てで心配なこと、不安なことは？
- 子育てをしている時、どんな気持ちですか？
- 赤ちゃんを育てるのは難しいですか？

子育てや赤ちゃんに抱く気持ちは、「幸せ」「癒される」といった明るい声が多い一方で、「大変」「自分の時間が減る」という思いも同じくらいありました。

## ２時間目 体験の授業

胎児模型

妊婦さん体験

赤ちゃん人形抱っこ体験

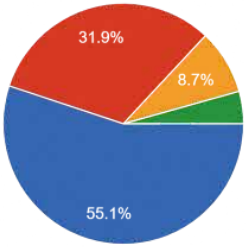
## 3時間目 ふれあい授業

## 生徒からの感想

- お腹が大きくなることで、靴下を履く、物を拾う、寝起きなどが命がけで大変なことだとわかった。
- 妊娠中も生まれた後も、親は忍耐力を持って常に大変な生活を送っていることを実感した。
- 自分が赤ちゃんの時、お母さんが苦労して産んでくれたこと、大切に育ててくれたことに気づき、感謝の気持ちを抱いた。
- 抱っこしたときの重さに驚いたが、癒された、連れて帰りたいと感じた。
- 赤ちゃんが笑ってくれたり、ミルクを飲みながら寝かけている様子がかわいかった。
- 子育ては大変だが、「かわいいから頑張ろうという気持ちになるんだな」「お母さんはずっと笑っているからすごく楽しいのかな」と感じ、幸せな時間であることも理解した。
- 赤ちゃんが体よりも頭のほうが重いことや、ある程度成長してもあまり目が見えていないことなどの身体的特徴に気づいた。
- 「妊婦さんを見かけたら積極的に席を譲ったりしたい」といった、思いやりのある行動を意識するようになった。
- 「友達や周りの人も家族に大切にされている」と気づき、「友達を大切にしたい」という気持ちにつながった。

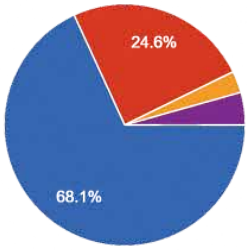
## 授業後の生徒アンケート結果

**子育てをしてみたいと思いますか**



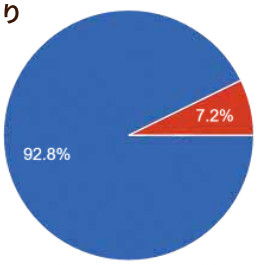

- 思う
- どちらかといえば思う
- どちらかといえば思わない
- 思わない

**赤ちゃん授業を受けて、将来のために、自分のからだや健康について考えようと思いましたか**



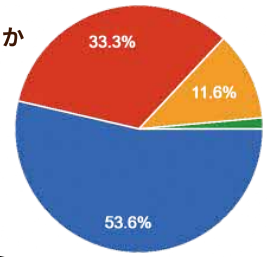

- 思う
- どちらかといえば思う
- どちらかといえば思わない
- 思わない
- わからない

**子育ての楽しさや大変さについて、以前よりわかるようになりましたか**




- 分かるようになった
- どちらかといえば分かるようになった
- どちらかといえば分らない
- まったく分らない

**赤ちゃん授業を受けて、自分の結婚や子育てについて、具体的に考えるきっかけとなりましたか**




- なった
- どちらかといえばなった
- どちらかといえばならない
- まったくならない

赤ちゃん授業により、生徒の認識には以下の変化が見られました。

1. **ポジティブな感情の深化:** 赤ちゃんに対するイメージは、「かわいい」「やわらかい」といった愛情や癒しを感じる側面への認識がより強化されました 。
2. **現実的な大変さの認識:** 子育ては、「不安」「お金がかかる」など、具体的で現実的な苦労や難しさへの理解が深まりました 。
3. **自己成長への意識向上:** 「やりがいがある」「自分の成長になる」といった、子育てがもたらす達成感や前向きな意味合いを意識するようになりました 。

自身の将来をイメージできるようになり、子育ての大変さを感じながらもポジティブな感情を深めることにつながった結果になったと思います！

## パパママからのメッセージ

- 赤ちゃんを抱っこする際に目線を合わせて優しく微笑んでくれる子が多くて、印象的でした。初めは少し緊張している様子もありましたが、最後には赤ちゃんと離れがたいと言ってくれたことが嬉しかったです。
- 生徒さんが赤ちゃんに触れる時に触ってもいいですか？と赤ちゃんに声をかけて優しく話しかけてくれているのがすごく印象に残っています。赤ちゃんのことをみんなが大切にしてくれている感覚になりました。そして、みんなもこうやって大切に愛されて育ったことを覚えていて自分を大切に出来る子どもたちが増えて欲しいと感じました。貴重な機会をありがとうございました。
- 生徒さんに出産直後、赤ちゃんを助産師さんがとりあげてまだ血がついた状態の写真や動画、NICUに入っている写真をみせた。交流の最後に出産が赤ちゃんだけではなくお母さんの命にもかかわることなんだと思った、と感想を言ってくれて子どもがそういうことに自分で気がつくことに感動した。
- 学生さんから質問をもらうことで、自身の妊娠～子育てのことを振り返るいいきっかけになった。

**主催：徳島県・受託運営（公財）徳島県勤労者福祉ネットワーク**